【大学間協定留学】留学報告書

記入日:2022年9月9日

所属学部/研究科·学科/専攻	政治経済学部経済学科		
留学先国	アメリカ合衆国		
留学先高等教育機関名	和文: カリフォルニア大学ロサンゼルス校		
(和文及び現地言語)	現地言語: University of California, Los Angeles		
留学期間	2022 年 6 月~2022 年 9 月		
留学した時の学年	4年生(渡航した時の学年)		
留学先での学年	4年生(留学先大学で在籍した学年)		
留学先での所属学部等	─────────────────────────────────────		
帰国年月日	2022 年 9 月 10 日		
明治大学卒業予定年	2023 年 3 月		
留学先大学について			
形態	□国立 □公立 □私立 □その他		
学年暦	1 学期: 2 学期: 3 学期: 4 学期: (記入例/1学期:4月上旬~7月下旬,2学期:9月中旬~2月上旬)		
学生数	45900 人(2021 年時点)		
創立年	1919 年		

留学 費 用項目	現地通貨 (USD)	円	備考
授業料	6,693	870,090 円	16 Units
宿舎費	5,825	757,250 円	Classic Double
食費	0	0円	Meal Plan 以外の食事分は含まない
図書費	0	0円	
学用品費	0	0円	
携帯・インターネット費	105	13,650 円	
現地交通費	0	0円	通学以外の費用は含まない(図大学まで徒 歩・自転車)
教養娯楽費	0	0円	
被服費	0	0円	
医療費	0	0円	保険適用につき
保険費	日本円で請求	30,660 円	形態:加入が義務付けられている海外用保 険
渡航旅費	日本円で請求	100,000 円	燃油サーチャージ料(往復)
ビザ申請 費	350	45,500 円	
雑費	0	0円	
その他	0	0円	紛らわしくなるため記載しないが、お土産や 旅行などで追加費用がかかった
その他	0	の円	
合計	12623+α	1,817,150 円	(1ドル=130 円で計算)

				International Student Center, Meiji Univer
			渡	航関連
渡航	経路			
往路	出発地:HND	目的地:LAX	経由地:None	
復路	出発地:LAX	目的地:HND	経由地:None	
渡航	費用			
	復チケットを購え			
航	空会社:日本航	, <u>空(</u> JAL <u>)</u>		
			<u> 程度の燃料サーチャージ料</u>	
	道ずつチケットを		ì	
	路航空会社:			
復	路 航空会社:	料金:	<u>:合計:</u>	
航空	券購入方法			
□旅	マ行代理店(店 名	⊈:) ⊠ -	インターネット(サイト名:日本	▶航空ウェブサイト) □その他()
			また しょうしょう はんしょう しょうしん しょうしん しょうしん しょうしん しょうしん しょうしん しょうしん しょうしん しょうしん しょうしょう はんしょう しょうしょう はい しょうしょう しょうしょう しょうしょう はい はい ひょうしょう はい はい はい はい ひょうしょう はい ひょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう し	形態関連
1)	「新(図学山の弾	(女生)(例)マ	/〒1: パート, 大学の宿舎など)	
	屋の形態 国室 🕅 相部屋			
		(问店入致 2)	入)	
	·有部分			
	にス 図トイレ		自炊可 _自炊不可)	
	居を探した方法			
UCLA	A Housing の指注	示に従って候神	補の中から選択	
5)咸	相:(滞在先の)	え相とこれから	る留学する人のためのアドバー	42)
				Centinial。どれを選ぶかは、費用やルームメイト数、築年数、エアコ
	無などの条件で			
				こあって近いこと、寮の Office があり手続きが楽なこと、Study Roo
				それを譲れない人は遠慮した方がよい。
			現	地情報
1)留:	学期間中 病令	[やケガを] ま]		寮を受けましたか。(例:現地の病院,学内の診療所)
		11 7 7 7 20 20		
	り(治療を受け	た場所:UCL/	4の附属病院)	
2)留	学期間中,学内	外で問題はな	ありましたか。あった場合,諸	崖に相談しましたか。
	:留学先大学の			
<u></u> な	こ			
Ø	り(問題の内容	や相談した人	、等:ルームメイト、大学の機	関、寮のオフィスなど、その都度)
3)現	地の危険地域	青報をどのよう	に収集し、どのような防犯対	対策をしましたか。また, 実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれた
			対処しましたか?	
				れを利用していた。基本的に「自己責任」であることに変わりはない
	常に気をつけるに			
			いて、現地での利用・接続に	
				がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能
			はカフェに行った。)	
大字	のWi-tiやスマ	ホの通信で全	く問題なかった。大字外に閉	関しては SIM カードを契約していた。
5)現	地での資金調道	皇はどのように	行いましたか? (例:現地に	銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は
			きない。また、クレジットカート	
				見地の口座は開設しなかった。
6)1B	手を	たいロナムこ	持っていくべき物があればま	おうて下さい
		-		
				うること、Amazon があることを考慮すると、基本的には買えな
		段は日本より	当然局くなる(当時は円安と	ヒインフレで二重苦)ので、可能な限り執着のあるものは持参した方:
よい。		1十一首 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11		
111		リコロ末科の		ついて教えてください。 (例:渡航前に自分で指定したクレジットカー
		閉設した鉛仁/		
で支	払った、現地で 前にウェブサイト		のチェックで支払った。) で支払った	

1)留学先で取得した単位数名		・(履修した科目ごとに記入してください) 本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。	
16 単位		 □【認定手続き中】単位 □単位認定の申請はしません(理由:) 	
2)履修登録の時期・方法及び	び履修制限		
·履修の制限はありましたた のある授業があるが、Visiting 3)以下は留学先で履修した	Student であるので気にしなくて。	ーー ent Student という授業を除き、基本的にはない。また、Prerequisite よい。 後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペ	
履修した授業科目名(留学先		■ 履修した授業科目名(日本語):	
Movies	can English and Culture from		
科目設置学部·研究科	Department of Communica	ation	
履修期間	in Session A		
<u>単位数</u>	4 units		
本学での単位認定状況		認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態		Presentaitons(チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1週間に125分が2回		
担当教授 授業内容	Dr. Negrete Syllabus, Course Objective		
	The goal of this course is to increase your ability to communicate in English while simultaneously learning about American culture and how to communicate effectively within American settings. We will accomplish these objectives through a combination of interacting with American media, class lecture, class discussion, and listening, speaking, and reading exercises. We will watch a total of four films and three television episodes, in addition to various music videos and other clips during class. Viewing and interacting with selected media content will provide a means to highlight and then discuss seminal elements of American culture. Viewing American media content will also serve to increase your listening and comprehension skills of American conversational English. Just as important, students will have an opportunity to practice speaking in English through group discussions, presentations, and other various in class oral exercises.		
試験・課題など	Syllabus, Grading より引用。 Leading Group Discussion: 15% Weekly Journal: 20% Weekly Artifact/Image For Class Discussion: 5% Quiz 1: 10% Quiz 2: 10% Final Paper and Presentation: 30% Participation and Attendance: 10%		
感想を自由記入	アメリカという国に対して、ほ から学ぶという観点が新鮮 活しているのか、アメリカ文 自分で扱いたいトピックがあ も高くおすすめ。また、授業 ため、俗に言う「敷居が低い る)。更に、先生は私の考え	上記の通り、ディスカッションとテスト、レポートが課せられる。 アメリカという国に対して、ぼやけたイメージや先入観がある学生は、ぜひ受講すると良い。映画 から学ぶという観点が新鮮ではあるが、授業を通して、アメリカ人がどのような思想を持って生 活しているのか、アメリカ文化の特徴はどのようなものなのかを整理することができる。加えて、 自分で扱いたいトピックがある場合は、ディスカッションのお題に据えることができるため、自由度 も高くおすすめ。また、授業内容や難易度からして International Student の割合が非常に高い ため、俗に言う「敷居が低い」授業でもある(もちろん英語上級者や4年生でも授業で活躍でき る)。更に、先生は私の考えや姿勢を理解してくださり、逆に複雑であったり難易度の高い質問 にも答えてくださるので、仮に履修する場合は特にこの先生の授業をおすすめする。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
MGMT 182: Leadership Principles and Practice		リーダシップの理論と実践	
科目設置学部·研究科	Anderson School of Ma	Anderson School of Management	
履修期間	in Session A		
単位数	4		
本学での単位認定状況	【単位認定手続き中】単	位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	Lecture and Discussions	s(チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1週間に125分が2回		
担当教授	Prof. Ullmen		
授業内容	Management is both a s industry constraints, st that leaders face. Th organizational challeng organizations for better Specifically, this course your own, and that of findings to identify th performance excellence competent individuals, a succeed. We focus on proven m and influencing others; le	We focus on proven methods for motivating, and inspiring best performance, persuading and influencing others; leading high-performance teams; creativity and innovation; decision- making, and negotiating skills, both 1-1 and in groups. We use organizational examples,	
試験・課題など	Syllabus, Course Gradin, Your grade on Quizzes Your participation grade Your grade on "Self-A Your grade on "Final E	Syllabus, Course Grading より引用。 Your grade on Quizzes 25% Your participation grade on "Class Activities & Discussion" 25% Your grade on "Self-Assessment and Feedback" 25% Your grade on "Final Exam" 25%	
感想を自由記入	こちらも個人的には非常 り、自分を見つめ直したり ーダーシップの授業は理 は実践面が充実していた 信を持てるのかを知り、反	5、グループワークなどが課せられる。 に収穫の多い授業だった。マネジメントの観点から、人に影響を与えた 」する機会の欲しい学生には履修を勧めたい。過去の留学経験から、リ 言論的な側面を多く学び、実践が不十分という印象があるが、この授業 こ。したがって、自分自身のどこが改善の余地があるのか、逆にどこに自 成長につなげることができたと自信を持って言える。先生に関しては、非 つある方で、かつ私たちの努力を親身に応援してくださるため、こちらも、 との授業をお勧めする。	

履修した授業科目名(留学先大	学言語):	履修した授業科目名(日本語):
COMM 166: Inside Hollywood		インサイド・ハリウッド
科目設置学部·研究科	Department of Communication	
履修期間	in Session C	
単位数	4	
本学での単位認定状況	【単位認定手続き中】単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態		チュートリアル,講義形式等)
授業時間数	1週間に125分が2回	
担当教授	Dr. Peterson	
授業内容	Syllabus, Course Description より引用。 This course will attempt to identify how motivations, business, creativity, media research, policy, etc. come together (or conflict) in producing entertainment media and how these motivations are realized in the Los Angeles entertainment market. Entertainment professionals will be invited as guests to provide current and topical insights. It is intended that this course ground theoretical issues in psychology, mass media research, theory, and media literacy in the real-world context of Los Angeles' premier industry: Entertainment. Television, Motion Picture, and Social Media production will be contextualized as motivations of producers, creative teams, media corporations, advertisers, and consumers are investigated. Students will study the social and psychological impact associated with exposure to entertainment media, media literacy, and media effects, and perform analyses on elements evident in the current media universe. Students will create and pitch new content ideas, keeping in mind the constraints of realistic production processes of entertainment media, and ground their creative projects using theoretical and empirical foundations in Communication. This course should be an excellent opportunity to take theoretical constructs in Communication Studies, discuss these issues in the context of production pressures, observe and measure these constructs using psycho-social and communication research techniques, and obtain a new critically savvy and informed level of	
試験・課題など	media literacy. Syllabus, Grading より引用。 Class participation, group work, and weekly assignments - 7 % Short Assignment (to be described in class). Research, Media Literacy, and Criticism Exercise - 18% Two Exams covering readings and class discussions - 25% and 30% respectively. Final Group Project - 20%. The final group project will provide a means for students to synthesize the previous weeks of readings, lecture, and discussion, and investigate the impact of industrial pressures and motivations on the production of entertainment content within the Los Angeles entertainment industry. The final paper and presentation will be a group project that synthesizes the foundations of media literacy, social psychological and communication models, along with real-world industry pressures and motivations. The final product will begin with a creative treatment (pitch) or sizzle reel for a television, film, or online project. Along with the treatment/reel, teams will critically analyze their own ideas from a practical production standpoint, as well as from a theoretical perspective: including a short review of the literature (utilizing the class ' research exercise results), the development of a in-depth criticism based on readings and discussions with industry visitors. The paper will then be presented to the entire class at the end of the quarter.	
感想を自由記入	上記の通り、テスト、レポート、グループワークが課せられる。 他に履修したい授業がなかったため履修したが、今振り返るとその割には大変だった。Session A で Communication 学部の授業を履修した経験から難しすぎることはないと踏んでいたものの、 Upper Division かつ Hollywood/現地の Film や TV shows という今まで深い接点のない内容で あるため、授業や Reading そのものを理解しないといけない。だが、内容としては非常に興味深 い。実際にハリウッド映画がどのように作られているのか(私たちが目にする俳優や監督の名前 だけが映画の裏側ではない)、いかに Creative さやその Quality が担保されているのか、実際に 自分たちならどうするのか、といった点は中々学べることではない。先生は Office Hours などで 親身に対応してくださるので、もし興味があれば履修してほしい。	

履修した授業科目名(留学先大	(学言語):	履修した授業科目名(日本語):
INTL DV M120: Political Economy of Development		
科目設置学部·研究科	Department of Internation	al Development Study
履修期間	in Session C	
単位数	4	
本学での単位認定状況	【単位認定手続き中】単位	認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	Lecture(チュートリアル, 講	義形式等)
授業時間数	1週間に125分が2回	
担当教授	Dr. Michel	
授業内容 武験・課題など	Syllabus, Course Description より引用。 This course is designed to help you answer some of today's most pressing questions: Why do some countries provide their citizens more opportunities in life than others? How can we set up bureaucracies and political regimes in a way so that they yield good outcomes for citizens? Why do some of the most pressing societal challenges - from the Covid-19 pandemic to the consequences of climate change - most adversely affect populations that are already underserved? Which development projects work, why, and how can we know? Syllabus, Expectations and Grading より引用。 Attendance: Attendance is mandatory. If you can't make it, please let me know in advance. Reading Assignments: It is imperative that you complete the readings before our meetings.	
感想を自由記入	You can access them via our class website. You are not required to study the recommended readings. In-Class Participation - 20% Midterm & Final - 40% each上記の通り、出席とReading、中間期末テストが課せられる。興味深い授業だった。経済と政治の面から国の発展について学ぶのだが、今まで知らない事 実をたくさん知り、また卒業までに学んでおきたい内容への理解を深めることができた。したがっ て、Reading が多いのが大変だったが、個人的には受ける価値があったといえる。この先生は	
		担当すると仰っていた。非常に親身で誠実な印象を受けたので、

卒業後の進路について
1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記2以降は記入不要)
□ 二進学 □ 未定 □ その他:
2)進路決定の際に活用したウェブサイト,書籍,機関など
ONE CAREER、外資就活、ビズリーチキャンパスなど有名なもの全て
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えて下さい。また、その企業を選んだ理由も教えて下さい。(内定を得た企
業すべての名前,あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)
※就職活動をこれから始める場合は,差し支えなければ現時点で希望する業界,職種等を教えて下さい。
_
4)就職活動中・終了に関わらず,就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備,帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い,留学を断 念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)
※就職活動をこれから始める場合は,留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。 私は就職活動終了後に留学に参加した。結果的にコロナ禍により就活と留学の順番が予定と逆になってしまったが、どちらも全力 で挑み、結果を残すことができた。そんな私が皆さんにできるアドバイスは、「今しかできないことを全力ですること」だ。これから成し 遂げたいことに対して、今まで成し遂げたこと、そして何よりも今の自分に自信を持って困難を切り開いていってほしい。
私は就職活動終了後に留学に参加した。結果的にコロナ禍により就活と留学の順番が予定と逆になってしまったが、どちらも全力 で挑み、結果を残すことができた。そんな私が皆さんにできるアドバイスは、「今しかできないことを全力ですること」だ。これから成し
私は就職活動終了後に留学に参加した。結果的にコロナ禍により就活と留学の順番が予定と逆になってしまったが、どちらも全力 で挑み、結果を残すことができた。そんな私が皆さんにできるアドバイスは、「今しかできないことを全力ですること」だ。これから成し 遂げたいことに対して、今まで成し遂げたこと、そして何よりも今の自分に自信を持って困難を切り開いていってほしい。
私は就職活動終了後に留学に参加した。結果的にコロナ禍により就活と留学の順番が予定と逆になってしまったが、どちらも全力 で挑み、結果を残すことができた。そんな私が皆さんにできるアドバイスは、「今しかできないことを全力ですること」だ。これから成し 遂げたいことに対して、今まで成し遂げたこと、そして何よりも今の自分に自信を持って困難を切り開いていってほしい。
私は就職活動終了後に留学に参加した。結果的にコロナ禍により就活と留学の順番が予定と逆になってしまったが、どちらも全力 で挑み、結果を残すことができた。そんな私が皆さんにできるアドバイスは、「今しかできないことを全力ですること」だ。これから成し 遂げたいことに対して、今まで成し遂げたこと、そして何よりも今の自分に自信を持って困難を切り開いていってほしい。 5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えて下さい。 ー

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備, 試験勉強, 留学中, 留学後, 特に留学に関連して発生した事項を記入して ください。例:語学試験の勉強, 選考, 出願, ビザ申請・取得, 航空券購入, 予防接種, 滞在先の確保, 留学中 の中間試験, 期末試験, その他イベント等

留学開始年の前年	1月~3月	英語力、GPA(学力や専門性の向上)、留学先選定に注力。 政治経済学部ベトナム短期オンライン留学への参加、就職活動開始	
	4月~7月	3 年生に進級。 UC Berkeley Summer Sessions にオンライン留学	
	8月~9月	UC Berkeley Summer Sessions にオンライン留学	
	10月~12月	TOEFL 受検 12 月:学内選考に出願	
留学開始年	1月~3月	2 月:UCLA に出願	
	4月~7月	4-5 月:履修登録、寮の予約、VISA の申請、ブースター接種など 6 月上旬:就職活動終了、ロサンゼルスに渡航	
	8月~9月	UCLA Summer Sessions に現地留学(期末試験:7月末、9月上旬) 9月上旬:帰国	
	10月~12月	当留学報告書の提出	
留学/帰国年	1月~3月		
	4月~7月		
	8月~9月		
	10月~12月		

留学体験記

この留学先を選んだ理由,留学生活全般について,留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してく ださい。

昨年のオンライン留学の経験を踏まえ、学びたい内容や経験したい事柄(、そして個人的なスケジュール)を踏まえて UCLAを留学先に選定した。初めての現地留学ということもあり、様々なトラブルに遭遇したり、可処分時間の使い方に 戸惑ったり、当初の目的意識がぼやけたりすることが何度もあったが、その度に自分自身と向き合うことで解決するこ とができた。とはいっても、やはり何事も「準備の質」こそが、大半の結末を左右すると私は自身の経験から考える。し たがって、想定できる事柄に関しては渡航前に準備をしたり、考えを巡らせたりするのが良い。言うまでもなく、一度渡 航するとあっという間に時間は過ぎてしまうことからも、ぜひ留学前の時間を大切にしてほしい。そして、意義のある留 学を自ら作り出していってほしい。